

令和5年度 人権を考える講演会

講演会 &
映画上映会

参加
無料



ぼけますから、
よろしくお願
い
します。

広島県呉市を舞台に、認知症の母と耳の遠い父の様子を描き反響を呼んだドキュメンタリー映画「ぼけますから、よろしくお願います。」を上映します。

そして、この映画の監督であり、娘でもある信友直子さんをお招きし、映画制作に込めた思いや、認知症や老老介護、介護と仕事の両立など、誰もが関わる課題についてご講演いただきます。

■日時：

令和6年 1/31(水)

13時30分～16時30分（開場13時）

■場所：小田原三の丸ホール 小ホール

〒250-0012神奈川県小田原市本町1丁目7-50

一般利用者用の駐車場はございません。
公共交通機関での来場にご協力ください。

■対象：市民の方及び近隣市町村の方

■参加費：無料（事前申込制・先着順）

■申込方法：人権・男女共同参画課まで電話
もしくは市HPから

■申込締切：令和6年1月17日（水）17時まで
※12月29日（金）～1月3日（水）はHPからの申込のみ

■自由席 ■託児あり（1歳～未就学児まで・要予約）

▼市HPはこちら



■講師（映画監督・実娘）

信友 直子 さん



©萩庭桂太

1961年広島県呉市生まれ。
東京大学文学部卒業。1986年からテレビ番組制作に携わり、フジテレビ「ザ・ノンフィクション」などで数多くのドキュメンタリー番組を手掛ける。
2013年頃から自身の父母を被写体として家庭内の介護の様子を記録し始める。2018年の「ぼけますから、よろしくお願います。」で長編映画監督デビュー。

優先席

車いす席、手話通訳・要約筆記が必要な方は
申込時にお知らせください。

■主催 小田原市

■申込・お問合せ

人権・男女共同参画課

0465(33)1725



母87歳、認知症。

父95歳、初めての家事。

広島県呉市。この街で生まれ育った「私」（監督・信友直子）は、ドキュメンタリー制作に携わるディレクター。18歳で大学進学のために上京して以来、40年近く東京暮らしを続けている。結婚もせず仕事に没頭するひとり娘を、両親は遠くから静かに見守っている。

そんな「私」に45歳の時、乳がんが見つかる。めそめそしてばかりの娘を、ユーモアたっぷりの愛情で支える母。母の助けで人生最大の危機を乗り越えた「私」は、父と母の記録を撮り始める。だが、ファインダーを通し、「私」は少しずつ母の変化に気づき始めた…

病気に直面し苦悩する母。95歳で初めてリンゴの皮をむく父。仕事を捨て実家に帰る決心がつかず揺れる「私」に父は言う。「（介護は）わしがやる。あんたはあんたの仕事をせい」。そして「私」は、両親の記録を撮ることが自分の使命だと思い始め…

■スケジュール

第1部 映画上映

「ぼけますから、よろしくお願いします。」

第2部 講演会

「認知症が私たち家族にくれたギフト」